

同志社大学志高館 SK119

11月16日(木) 16:40 - 18:10

社会科学のフレームから見た

『トランプ現象』

2016年11月、ドナルド・トランプ氏がアメリカ合衆国の大統領に選出され、本年1月同政権が発足した。相次ぐ政策変更や人事交代劇など、トランプ政権をめぐるセンセーショナルな話題に事欠かない。だが、われわれにとって最も重要なことはワイドショー的な好奇心でアメリカ政治をのぞき見することではないのではないか。対象に対して興味を持つ、好奇心を抱くことは非常に重要である。だが、それだけにとどまってもいけない。そこから一歩進んで、対象に対して学術的な分析を加え、仮説を立て、データに基づいて実証を行うこと。この講演では2016年の大統領選挙でなぜトランプ氏が支持されたのか、諸説を整理しつつ、独自の観点から学術的な分析を試みたいと考えている。

西川 賢（にしかわ・まさる）氏

津田塾大学学芸学部国際関係学科・教授



1975年生まれ。慶應義塾大学大学院法学研究科博士課程修了、博士（法学）。専門は政治学。著書に『分極化するアメリカとその起源』（千倉書房、2015年）、『ニューディール期民主党の変容』（慶應義塾大学出版会、2008年）、『ビル・クリントン』（中公新書、2016年）など。

来聴歓迎
予約不要

同志社大学アメリカ研究所

075-251-4900

ji-amekn@mail.doshisha.ac.jp